

キヨロキヨロたてももの観察・壁の妖精が語り継ぐ、丸田ストアーの公衆電話

丸田ストアーの東側の外壁に、最近小さな小窓が2つ、新たに増設された。小さいながらも新たに窓が開通したスプンフルさんのキッチンや出茶屋さんには、明るさとともに、奥行き感や抜け感が加わり、風通しもよくなった。外側の壁面でも、明かりや匂い、にぎわいが窓の隙間から外に溢れている。あらためて、窓っていいなあと思う。

その小窓のある壁面に沿って歩き始めて最初の一步。壁から「こんにちは！」と言わんばかりに可愛らしい顔がこちらを向いていることに気が付く。（これが顔に見えるのは、僕だけでしょうか？）まな板くらいのサイズの色あせた木材が、壁にぴったり貼り付けられている。電話線らしきケーブルを啜えたまま、円な目でキョトンと首を傾げている「壁の妖精」（と勝手に呼んでいるのだけど、愛称募集中です！）。



絶妙に右に傾いたままの、この妖精さん。おそらく最後の外壁塗装の際に、しっかりマスクングされ、ペンキ一滴付かないように大切に守られたのだからすごい。目や鼻に見える点々をよく見ると、一つ一つがビスや釘のようで、その本数を見たところ、この板を壁面から剥がし取るのは、至難の技だ。わざわざ外さないで、そのまま残しておいたことは想像できる。しかし、わざわざ、マスクングしてまでペンキを上塗りしなかったということは、塗装した頃には、今とは違う役割を担っていたのでは、と考えられる。これまでのリサーチで、最後に塗装したのは2001年だったと聞いているので、その頃はここに何かがあったのだろう。



写真出典：「丸型ポスト撮影記録」<http://marupost-satsuei.blog.jp/tag/小金井市?p=3>



ここからは、勝手な推測なのだけど、おそらくこれは電話線のモジュラーか何かを取り付けるための板で、かつてここに電話機がつながっていたのではないだろうか。ひと昔前の形の商店の軒先に、郵便ポストと小さな公衆電話と自動販売機が並んでいるのを見たことがある。丸田ストアの横には郵便ポストが今でも現存しており、以前、小金井市内の丸型郵便ポストの歴史を調べていた時に、偶然ネット上で発見した2007年12月1日撮影

の丸田ストアの写真には、自動販売機がなんと4台も設置されている様子が写されていた。10年以上前の丸田ストアの様子が写されているが、ぱっと見の印象はそんなに変わっていない。特に、当時から営まれている山川精肉店さんの店先の雰囲気は今とほとんど変わらない。シャッターの奥には、スプンフルさんの前に入居してした駄菓子屋さんの様子が見える。何より、自販機が4台も並んでいるのは、今と決定的に違う。

残念ながら建物の東側の様子は写されていないが、かつて公衆電話が設置されていたことは、人知れず「壁の妖精」さんが語りかけてくれる。ぜひ、丸田ストアにお立ち寄りの際は、東側の壁の妖精さんに会いに来てください。そして、かつてここに公衆電話があった！という記録や記憶をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお話をきかせてください！（妖精さんにではなく、僕に！）

（文・丸田ストア2階とをが渡邊）

キヨロキヨロたてももの観察
まだまだ続きま〜す

